

## 編集方針

当社は開業から一世紀にわたり、社会から信頼される企業を目指して地域に根ざした事業を展開してきました。

本報告書では、当社が事業活動を通じて「人々の暮らしを支え、よりよくするための取り組み」をどのように考え、推進しているかを報告しています。

継続してステークホルダーから客観的な意見を取り入れるコミュニケーションの機会を設け、「CSR報告書2012」よりその内容も報告書内に掲載しています。

また、今年度は東京地下鉄株式会社の梅崎相談役をお迎えし、当社が果たすべき社会的役割と可能性についての対談を行いました。

なお、本報告書は鉄道事業法により公表を義務づけられている「安全報告書」も兼ねており、安全に関する情報も充実させています。

### ▶ 報告対象範囲

京阪電気鉄道株式会社の事業活動を報告対象としています。

※環境負荷データ、環境会計データは当社および株式会社京阪ビジネスマネジメント、株式会社京阪ステーションマネジメントを対象としています。  
※一部のグループ会社のCSR活動も紹介しています。

### ▶ 報告対象期間

平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

※一部に平成26年度以前、27年度以降の取り組みを含んでいます。

### ▶ 参考にしたガイドライン

- 環境報告ガイドライン（2012年版）
- 環境会計ガイドライン（2005年版）
- 民鉄事業環境会計ガイドライン（2008年版）

### ▶ 発行

平成27年8月

### ▶ 次回発行予定

平成28年8月

### ▶ お問い合わせ先

京阪電気鉄道株式会社  
経営統括室 経営戦略担当 CSR報告書作成事務局  
TEL：06-6945-4585 FAX：06-6947-3724

## CSRとは >>>

「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」という意味です。

企業の不祥事が多発する中、企業が顧客、地域社会、株主、従業員、地球環境など、周囲をとりまく利害関係者（ステークホルダー）とどう向き合っていくのか、ということが課題となっています。

CSR報告書は、企業のステークホルダーとのかかわりを開示することで、取り組みをご理解いただくとともに、自社の活動を検証するためのものです。

## CONTENTS

ブランドコンセプト／京阪電気鉄道株式会社 会社概要	2
編集方針／CONTENTS	3
■ スペシャル対談	4
京阪グループのCSR	
京阪グループの経営理念体系 ／京阪グループのCSRへの考え方／経営理念／経営姿勢	8
経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」／行動憲章	9
コーポレートガバナンス／CSR推進体制	10
経営理念の浸透／当社とステークホルダー／ステークホルダーダイアログ	12
“こころまち つくろう”の実践—鉄道事業での「CSアンケート」実施—	13
安全への取り組み [安全報告書]	
■ 安全基本方針と安全管理体制	
安全基本方針／安全管理体制	15
平成26年度安全重点施策の取り組み ／平成27年度の安全重点施策の取り組みテーマについて	16
■ 平成26年度の事故・障害等の発生状況	
事故・障害等の発生状況	17
■ 安全管理体制の強化	
安全管理方法／教育・訓練	18
ヒヤリ・事故の芽活動／動力車操縦者（運転士）の養成 技術の継承／KYT（危険予知トレーニング）	20
21	
■ 走行中の列車の安全性向上	
運行管理	22
脱線防止対策／線路を遮る障害物の検知／併用軌道	23
■ 駅の安全性向上	
24	
■ 車両の安全性向上	
車両の安全対策／より安全快適な車両を目指して	25
■ 踏切の安全性向上	
踏切数の推移／踏切での啓発活動	26
27	
■ 火災・自然災害対策の推進（地震、風、雨など）	
気象観測機器／雨量監視システム／早期地震警報システム ／地下線の防災監視システム	27
28	
■ その他の取り組み	
鋼索線（男山ケーブル）の安全対策／ひらかたパークの安全対策	28
■ 安全投資について	
安全投資	29
■ 京阪電車からのお願い・安全報告書へのご意見受付	29
社会への取り組み	
■ お客さま満足のために	
お客さまの声にこたえて	31
よりやさしく便利な鉄道を目指して	32
バリアフリー化の取り組み／お客さまとのコミュニケーション	33
■ 株主・投資家のために	
34	
■ 地域社会のために	
明日を担う世代のために	35
地域社会とのコミュニケーション	36
■ 従業員のために	
働きやすくやりがいのある職場づくり	38
安全衛生に関する取り組み	39
環境への取り組み	
環境理念／環境方針／環境理念・環境方針の浸透	41
環境マネジメント／京阪グループの環境マネジメント	42
環境負荷低減の目標と実績	43
事業活動に伴う環境負荷（マテリアルバランス）	44
環境会計	45
地球温暖化防止の取り組み（鉄道電力の削減）	46
地球温暖化防止の取り組み（公共交通利用促進）	47
騒音振動低減の取り組み	48
大津線におけるリサイクルの取り組み／「KUZUJHA MALL」の環境に 配慮した取り組み／森林保護の取り組み／私たちが環境活動に取り組 んでいます	49
グループ会社における取り組み	50
■ 第三者意見／第三者意見を受けて	52
京阪グループの概要／京阪グループネットワーク ／京阪電車沿線案内図	53